番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H27.7.1	市政懇談会 (H27)	浮田	総合政策部 建設部 東和総合支所	秘書政策課 都市政策課 地域振興課	空き家対策について	地域としては空き家の今後の処分や取扱いについて所有者の考えを知りたいが余計なお世話と思われたり、個人の財産処分であることから遠慮している。 市で積極的に空き家対策に取り組むという姿勢を見せて、対象者に何らかの形で働きかけをしていただければ、地域でも情報交換や相談等空き家対策に対応ができる。	市では、平成24年10月から平成25年3月まで花巻市全域の空き家調査を行い、所有者等に対して適正な管理を促している。本年5月から施行された空き家法では、所有者等の適切な管理をする努力義務が定められており市は所有者等に情報提供や助言等を行うこととされている。現在、市では空き家等対策計画を策定中で、その計画により対策に努めることとしている。前回調査した緊急性の高い空き家等58件の再調査をしたところ、特定空き家等は15件。特定空き家等に該当する所有者等には、助言・指導を行い、状況が改善されなければ勧告を行い、住宅用地に係る固定資産税の特例措置の対象から除外する等の措置を講じることになる。さらに改善しない場合は命令し、代執行により市が措置を行うことができることとなっているが、示されたガイドラインでは、周辺の建物や通行人等に切迫した危害が及ぶ場合といった制限がある。法律では崩れた廃屋といえども所有者等に第一義的な管理責任があるということが示されている。 市の条例で制限をなくして取り壊せるようにしたらと考える方もいるかもしれないが、法律で対象にならない家を取り壊すことは裁判となった場合負ける危険性があり強制的に市が取り壊すことは難しいと思う。使える空き家を使う方法を探る方が実効性があるのではないか。大分県竹田市では空き家バンクを効果的に運用しており参考にしていきたい。知らない間に人が住んでいたということは避けたいことから住む方に地域の方を紹介するなど地域と連携を図ることが大切と考える。 現在の空き家バンクの状況について、市外に居住し市内に家を持っているという方々の固定資産税納税通知書に空き家バンクの案内を同封し送付したところ、1カ月で60人～70人の問合せがあり、登録したいという方が16人。市では8月に正式に空き家バンクを立ち上げることで準備をしているので秘書政策課定住推進係に問合せ願いたい。
2	H27.7.1	市政懇談会 (H27)	浮田	農林部 農業委員会	農政課 農業委員会	小規模な端切れ状の水田等の取扱いについて	毒沢地区には高速道路ができたことにより、端切れ状に残された極めて小区画の水田があり、水田管理が難しく所有者の高齢化もあり放置状態で草から木になりつつあり林状態である。さらに沢地等の林地そばの小区画水田についても同様の状況となっている。農業振興地域内の農用地区域からの除外や地目の林地への変更など所有者の意向に沿った形としての取扱いを認めてもらえる方法を考えてもらいたい。	農業振興地域内の農用地区域からの除外については条件がある。農業振興地域除外の際に当該農用地が中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金の対象となっている農地は場合によって交付金返還が生じるので留意が必要。沢地等の林地そばの小区画水田の林地化については、中山間地域等直接支払交付金の取り組み項目にあり、場所によっては可能となるので林地化取り組みを集落協定で計画していただき市へ相談いただきたい。是が非でも農地を守るという国の方針が変わりつつあり、一部制度の中では林地化も認めており、個々具体的な案件として市へ相談していただきたい。 農地転用に係る許可権限は、4ヘクタールを超える場合を除き、国から県へ移譲されさらに市に授与することができることとなっている。花巻市でも転用許可の権限が行使できる可能性を探っているが今すぐに県から転用許可権限をいただけるか疑問である。また、許可に係る条件は今までと同様なので農地転用許可は厳しいというのは変わっていない。個別具体的な案件については農林部、農業委員会に相談いただき、変えなければならない制度は市長会を通じて国へ要望していきたい。
3	H27.7.1	市政懇談会 (H27)	浮田	農林部	農村林務課	山林の今後と松くい虫被害について	地域の先輩方は自分の山は自分で手入れをしていたが、今の若い人たちはほとんど山に入らない。自分の山がどこまであるかも知らない人が多い。 また、松くい虫被害で山が真っ赤になっている。広報紙で個人で処分するよう掲載されているのを見たが、個人で処分している場所を見たことがない。このような現状で、今後、山をどのようにするのか、地域で考えるものなのか教えていただきたい。	浮田地域は国土調査済であるので図面上の山の境界は確定している。森林の施業及び活用保護について作成する森林経営計画では山の境界の確定が前提となっていることから、森林経営計画の作成は可能。森林経営計画について森林組合が協力して大迫、東和地域で動きだしているため今の状況から改善される可能性がでてきている。松くい虫被害木については、来年稼働するバイオマス発電の材料として有効活用することで森林組合と連携することになっている。
4	H27.7.1	市政懇談会 (H27)	浮田	総合政策部 農林部	総務課 農村林務課	有害鳥獣対策に係る自衛隊OBの採用について	市では防災危機管理のため、自衛隊OBを職員に採用したと聞いた。同様に有害鳥獣対策のため、射撃の上手な自衛隊OBを市で採用していただきたい。居住する空き家は地域で準備する。	

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H27.7.7	市政懇談会 (H27)	八日市	健康福祉部 石鳥谷総合支所	長寿福祉課 地域振興課	少子高齢化における地域活性化方策について	地区内の高齢化が進み高齢者家庭が増加し、地域の役割分担が重荷になってきている。又、子供が減少し地域活動の張り合いが欠けてきている。コミュニティでも高齢者大学、子供会行事の支援をしているが限界があると考えており今後の当地区のコミュニティについての市の方策をお聞きしたい。	<p>高齢化の進行と地域における後継者不足により、それぞれの地域における円滑なコミュニティの推進や各種事業推進に支障をきたしていると感じている。地域内における人材発掘の難しい課題であり、各コミュニティ会議においても今後の組織運営や地域づくり活動に支障が出る恐れがあることから、話題を提起して話し合いをしていることと思うが、具体的な解決策は見えてこないところである。しかしながら、地域コミュニティが成り立たなくなると、ますます地域は活力を失うことになるので、市では、各地域の実情を把握しつつ、様々な見地から地域の皆様と一体となって取り組んでまいりたい。</p> <p>八日市地区コミュニティ会議では、平成20年に「山川のやさしさに包まれて福祉と文化が栄える里「八日市」として、地区ビジョンを定めておりますので、今後とも八日市地区まちづくり計画を進めるに当たり、地域の皆様と一緒に取り組んでまいりたい。</p> <p>国全体の傾向として、去年1年間で東京一極集中が急激に進んだ。上場企業を中心に雇用が増えたため、県内の大学から就職で東京へ行く学生が多くなり、地方の人口が急激に減っている。花巻市においても様々な事業を実施して人口減少対策に取り組んでいる。オンデマンドタクシーについては、今後このサービスがもっと必要になると考えている。今は使い勝手が悪くないので、ITシステムの導入も検討している。地域の方々からも意見をいただき、出来ることを少しでもやっていきたい。</p> <p>3月末現在で花巻市の65歳以上の高齢者は31,029人で、高齢化率は31.2%まで上がり、一人暮らし高齢者は5,240人と着実に増えている。第6期の介護保険事業計画で平成27年度からの花巻市の介護保険料の標準額が5,506円と決定した。ほぼ全国平均並みであるが、これを下げる努力を皆さんのお力を借りてやりたいと思っている。これまでも介護予防のために様々な事業を利用していたが、平成29年度から新しい総合事業ということで要支援の方々のサービス、これまではヘルパーさんが行っていたものを地域の皆様のご協力もいただきながらそういう仕組みを作っていくという制度になっている。</p> <p>要支援1・2の人たちは、今までどおりのヘルパー支援は受けられなくなる。花巻市は2年間猶予して続けることにしたが、その後の対応については非常に大きな問題である。</p> <p>要支援1・2の人をどうするかについては、地域包括ケア、地域で面倒を見ることを考えている。高齢者の方が集まり、いろんな活動をして、元気を維持するとか、地域の方々介護してくださるというようなことをやっていく必要がある。</p>
2	H27.7.7	市政懇談会 (H27)	八日市	総合政策部	秘書政策課	空き家バンクについて	空き家バンクについて、おそらく、そのまま住宅を集めてホームページに掲載しても、その住宅がどういう状態かわからないので、うまくいかないと思う。地域の情報については地域の人たちに作ってもらい、ホームページで公開してほしい。地域で住宅として最も良い場所を斡旋し、住んでもらう環境をつくるような状態になればよいと思う。	おっしゃるとおり、市の担当だけでは無理なので、地域のことに詳しい方々にHPを作ってもらえば非常に良いと思う。それを市のHPに掲載することは可能だと思うが、全ての地域となるとおそらく難しい。実際に住宅を見てもらうときに市の職員と区長や地域の方が同行して、紹介したり、話をしてもらおうというやり方の方が良いかもしれない。ぜひ、検討していきたい。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
3	H27.7.7	市政懇談会 (H27)	八日市	農林部	農村林務課	鹿など鳥獣被害対策について	最近日本鹿による田畑の被害が相次いでいる。鹿や熊に対しての市の鳥獣対策をお聞きたい。	市では、電気柵の設置に係る経費に対して、2分の1の補助金を交付して支援している。上限は7万円になっており、条件としては、市内に住所がある方で、現に鳥獣被害を受けている方、あるいは今後受ける恐れのある方が対象である。今年度の予算は210万円を措置しており、6月末現在では70万円弱の補助金交付となっているので活用していただきたい。 もう一つの対策としては、花巻市では104名の有害鳥獣被害対策実施隊があり、有害鳥獣を捕獲していただいている。今年度はニホンジカの捕獲計画頭数を500頭に増やし、随時捕獲や春と秋の年2回行っている一斉捕獲により、被害防止対策に取り組んでいる。ツキノワグマについては、警察や皆さんからの目撃情報により、実施隊や市の職員が現地確認を行い、危険な状況である場合は捕獲していくという形で有害鳥獣の対策に取り組んでいる。
4	H27.7.7	市政懇談会 (H27)	八日市	農林部	農村林務課	カラスの被害対策について	家の辺りにカラスが多くて困っているが、市役所でも多いと思うので、どうい退治の方法を考えているのか教えていただきたい。	カラスの捕獲を実施隊に依頼しており、時間帯などを見ながら捕獲して昨年は1,257羽捕獲している。それ以外の対策ということであれば実施隊と協議しながら対応を検討していきたい。
1	H27.7.9	市政懇談会 (H27)	八幡	健康福祉部	長寿福祉課	認知症への対応について	認知症の方の見回り、見守り体制について、見守りたい人は少ないし、見守られたくない人もいる中でどのような体制を市では考えているか伺いたい。	花巻市内の高齢者は3月末現在で31,029人おり、高齢化率は31.2%になっている。ひとり暮らしの高齢者も5,240人と増えており、隣近所での見守りが大切であるが、見守り支援のために宅配業者や新聞屋等の18事業所と協定を締結して、新聞が溜まっているなど異常時に通報してもらうことにしている。 認知症高齢者は、3月末現在で3,501人で要介護認定を受けている6,140人の57%が認知症の方である。花巻市では認知症予防のために地域の皆さんの協力もいただきながら、さまざまな取り組みを行っている。認知症の正しい知識の普及ということで、認知症サポーター養成講座を開催し、現在4,400人のサポーターを更に増やしていきたいと思っている。また、今年は認知症ケアバスの作成に取り組みたいと思っており、生活機能障害に応じた支援内容を体系的にまとめ、周知したい。介護予防の推進については、湯のまちホット交流サービスを行っており、年間3万人ほどご利用いただいている。また、昨年度から若葉町でモデル事業でスタートした「元気でまっせ体操」は、一緒に集まって体操を行っており、現在、石鳥谷地域では、好地地区で始まっており、市内全体では15地区まで増えている。今年度から認知症地域支援推進員を2名配置し、認知症の方やその家族を支援している。また、将来的には専門医を交えた形で認知症初期集中支援チームを設置して、支援体制を強化し、できれば平成29年度からスタートしたいと思っている。 認知症になった場合には症状に合わせた介護サービスの充実が必要であり、平成27年度から平成29年度までの第6期介護保険事業計画の中では、認知症の高齢者グループホーム27名分、特別養護老人ホーム85名分を増やしていきたいと考えている。 徘徊・見守りSOSネットワークというのを作りたいと思っている。徘徊高齢者の捜索について、メールなどの活用により一斉に情報を流し、発見・通報・保護や見守りに関するネットワークシステムを構築を検討している。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
2	H27.7.9	市政懇談会 (H27)	八幡	教育部	小中学校課	いじめと不登校について	市ではいじめと不登校をどのくらい(どのように)把握しているか。また、いじめと不登校の対策はどうなっているか伺いたい。	花巻市では、これまで以上にいじめの防止等の対策を効果的に推進するために、昨年の12月に「花巻市いじめ防止等のための基本的な方針」を策定した。広報では、いじめ防止の基本方針の4つのポイントを掲載した。1つ目は、社会全体、具体的には市、学校、保護者、児童生徒、地域、そして関係機関でいじめ防止に取り組む。2つ目は、いじめの未然防止を重要視する。3つ目は、児童生徒が主体性を発揮していじめ防止に取り組む。4つ目は、毎年6月1日をいじめ防止を考える日として制定。この「いじめ防止を考える日」の基本的な考えは、「社会全体でいじめを許さない風土づくり」を推進することであり、方針としては児童生徒が主体的にいじめを防止するための取り組みを行うものである。内容は学校ごとに異なるが、児童会や生徒会が中心となり、いじめ標語づくり、全校集会での呼びかけ、「いじめ防止」の決意発表、「仲間・友達・思いやり」等の作文を書く等、学校の特色を生かした取り組みを展開している。八幡小学校では、縦割り班ごとに集まって昼食をとり、その後、縄跳びやゲームなどで仲良く遊ぶことや「NHK100万人の行動宣言」に応募し、各自が考えた行動宣言を昼の放送で紹介し合う取り組みを行っている。いじめの把握については、各学校でいじめを認知した場合、その都度教育委員会、小中学校課に報告するようにしている。いじめの件数については、平成25年度は小学校22件、中学校14件、26年度は、小学校6件、中学校8件となっている。未然防止が第1であり、各学区で策定された「学校いじめ防止基本方針」に基づき未然防止に取り組んでいる。発生した場合の対策として、基本的な対応として8項目提示しており、これにより適切かつ迅速な対応をすることとしている。不登校関係の児童・生徒の状況については、毎月、該当児童生徒の状況について、学校から報告を受けている。不登校を減少させるための対策としては、各学校において、共感的な学級集団づくり等を通して未然防止に取り組んでいる。
3	H27.7.9	市政懇談会 (H27)	八幡	教育部	こども課	育児休業1年経過後の保育園入所延長について	孫が保育園に入っているが、市役所から母親の育児休業が1年以上になるため10月で保育園を退園になる旨の通知が届いた。職場の状況等で来年の3月復帰としている。保育園では決まりだからやむを得ないということだが、子供の状態とか家族のことなど、ある程度考慮することはできないものか。	国の定めでは1年となっているが、同様の要望があり、園で可能ならば1年を超えても受け入れできるように検討している。法人立の保育園もあるので、対応可能な園の意見を聞きながら前向きに検討している。 このことは、花巻だけでなく他の市でも問題になっている。基本的には保育園の場合には、お母さんが働いていて、預けなければならない人を預かっている。保育園の数が足りないということがあり、働いていて預けられない人がたくさんいる中で、育児休業中に一定の条件に該当となった場合には、そちらに振り分けてくださいというのが国の制度になっている。ただ、お子さんから見た場合には、慣れた保育園に突然通えなくなるというのはあんまりではないかというのはそのとおりだと思う。もし、待機者がいて、その待機者の方を優先しなければならない場合には、我慢していただくことがあるかもしれないが、そうでない場合には継続して預かっていけるように保育園とも協議しながら規則を変更することを検討している。
4	H27.7.9	市政懇談会 (H27)	八幡	健康福祉部	長寿福祉課	ひとり暮らし高齢者の見守りについて	18事業所でひとり暮らしの高齢者を新聞が溜まっていないか等注意して見守るとのことだが、声がけをして安否確認をした方がよいと思う。	日配業者等が配達をして異常な時に知らせてもらう形であり、基本的には声がけはしていない。見守りをもっと充実していかなければならないと思っているが、具体的な声がけ等については、やり方を含めて検討させていただきたい。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
5	H27.7.9	市政懇談会 (H27)	八幡	健康福祉部	長寿福祉課	徘徊・見守りSOSネットワーク について	いづごろ実施を目指しているのか。 インターネットは年配の人だと難しい人もあると思うので、電話などで連絡を受ける体制にはできないか。 広報以外で、徘徊者等を見つけた場合の連絡方法などを書いて配布し、周知を図ることはできないか。	ネットワークについては、今経費を試算しているところであり、あまり金額が高くなければ早目にやりたいと思っている。認知症の方がかなり遠くまで歩いて行った場合に、知らない人でも特徴が分かればということ で、このシステムを考えている。近所の方であれば顔もわかるので、この仕組みはいいと思うが、隣近所での見守りのご協力をいただきながら、一方ではもっと広範囲でみなさんに見守っていただくことが必要だ と思っている。 広範囲だと、電話で連絡を受ける体制の場合、対応がなかなか難しい と思う。現在、防災については、エフエム花巻を使って割り込みをしている が、場合によっては検討していく必要があると思う。プライバシーの問題 もあり難しいこともあるが、命を守ることが大切なので、やれることは やっていきたい。 広報以外での、周知については効率的なのか、また効果があるのか、 費用や方法等も含めて検討することが必要だと思う。
6	H27.7.11	市政懇談会 (H27)	八幡	健康福祉部	長寿福祉課	高齢者の徘徊等について	徘徊する人についても地域が大切だと思う。個人情報ということもある と思うが、地域の人たちである程度の情報を共有しなければいけないと思 うので、社会福祉協議会や長寿福祉課から情報を得る機会があればいい と思う。	
7	H27.7.9	市政懇談会 (H27)	八幡	総合政策部	秘書政策課	広報・ホームページでの周知 について	最近では広報を見てくださるか、花巻市のホームページを見てくださ いというのが多いように思うが、いかがなものか。	それはよくないのは確かである。広報やホームページを見る人は少ない と思っている。周知について、十分ではないことはよくわかっているが、 説明会をしてもなかなか人が集まらないので、どのようにしたら周知徹 底できるか頭が痛いところである。
8	H27.7.9	市政懇談会 (H27)	八幡	総合政策部	地域づくり課	懇談会の周知徹底と進め方 等の検討について	懇談会の周知徹底をして、せめて区長、班長に連絡して出してもらうよ うにしないと参加者が少なく、何のためにやっているかわからない。また、 市からの一方的な説明で、せっかく時間を割いて来てても時間がなく、ほ とんど話ができないので、進め方等を検討してほしい。	
9	H27.7.10	市政懇談会 (H27)	八幡	教育部	小中学校課	いじめ問題について	いじめについては、小学校の道徳教育が根底にあると思っている。時代 は違うが、学校教育の仕方ではなんとかできるのではないかと。きちんと教 える場が学校だと思う。規則とか立派な計画はあると思うが、そこをもう 一度考え、見直してもいいのではないかと。	
10	H27.7.11	市政懇談会 (H27)	八幡	教育部	こども課	いじめや不登校問題について	いじめや不登校がおこるのは、小学校に入る前に保護者が子育ての中 で、がまんの仕方とか基本的な生活習慣をきちんとつけさせていないため だと思う。保健活動などで、小さい時の基本的な生活習慣等について教 えることをやった方が良く思う。	
1	H27.7.14	市政懇談会 (H27)	成島	総合政策部	地域づくり課	今後のコミュニティ会議のあり 方について (事務職員の人件費)	平成28年度からは振興センター非常勤職員が撤退し、当該事務をコ ミュニティ会議が担うとの運営方針が示されているが、人件費等は現状 もしくは増額し地域づくり交付金に交付されることでよろしいか確認し たい。	振興センターの非常勤職員については、平成28年度からコミュニティ会 議の職員に移行させていただきたいということでコミュニティ会議には概 ね理解をいただいている。人件費については、今年度の非常勤職員の 額と同程度を上乗せで確保するという考え方で検討している。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
2	H27.7.14	市政懇談会 (H27)	成島	総合政策部	地域づくり課	今後のコミュニティ会議のあり方について (予算執行)	各専門部会の活動を活発にするために予算の執行をコミュニティ会議の裁量に任せてほしい。ボランティアでは長続きしないため人夫賃や役員手当等の支払いを可能としたい。	地域づくり交付金の使途など、コミュニティ会議と協議していく中で、人夫賃や役員手当等についても引き続き検討していきたい。 コミュニティ会議の理念は、高齢化が進む中で地域が助け合いながら地域づくりを進めることだと考えており、高齢者の見守り支援や介護予防事業を実施している成島地区のいきいきサロンはコミュニティ会議の理念に近い取り組みと思う。コミュニティ会議の助け合いの事業の中でお金がかかるということであれば人件費も無償というわけにはいかないとと思う。一定のお金を使っていたくことを考えていく必要がある。
3	H27.7.14	市政懇談会 (H27)	成島	総合政策部	地域づくり課	今後のコミュニティ会議のあり方について (事務作業の簡素化)	事業実施に係る事務作業を、必ずしも市が行っているとおりではなく、場に応じて迅速かつ柔軟に対応するため、簡素化を認めてほしい。	コミュニティ会議への交付金は市民の皆さんからお預かりしている税金で運用させていただいている。従って任意の団体とは性質が異なることから公平性、透明性の確保のためご理解をいただきたい。
4	H27.7.14	市政懇談会 (H27)	成島	総合政策部	地域づくり課	今後のコミュニティ会議のあり方について (交付金均等割配分率の増)	交付金の配分率は、均等割50%、世帯割35%、面積割15%を基準に配分しているようだが均等割の配分率を多くしてほしい。	コミュニティ会議ごとの1世帯当たりの平均交付金額は地区によって異なり、最高で24,000円ほど、最低で3,000円ほどとなっている。均等割を増やすことにより1世帯当たりの交付金の差が更に広がることから均等割を増やす等については検討していないが、交付金のあり方の見直しの中で引き続き協議させていただきたい。 均等割等配分率については地域間の実情が違うことから配分率の変更は難しい。その中で、コミュニティ会議の理念である助け合いの事業に従事する方たちを支援する方向にすることが大事ではないか。助け合いの事業を実施するうえで必要なお金であれば交付金の配分についても考え直す必要があるのではないか。
5	H27.7.14	市政懇談会 (H27)	成島	総合政策部	地域づくり課	今後のコミュニティ会議のあり方について (情報交換の機会)	来年度に向け市内のコミュニティ会議が不安のない活動を進めていくためにも、今年度内に情報交換の機会を多くするような手だてを考えていただきたい。	これまでも市全体、あるいは総合支所単位での研修会を開催し情報交換をしてきた。ご提案の今年度内の勉強の機会についても取り組んでいきたいと考えることからお時間をいただき案をお示しさせていただきたい。
6	H27.7.14	市政懇談会 (H27)	成島	健康福祉部	長寿福祉課	一人暮らし高齢者の日常生活の安全を図るための対策について	一人暮らしの高齢者が日常生活を安全に過ごすためにはどのような対策が必要か。	花巻市の65歳以上の高齢者人口は平成27年3月末現在で31,029人、人口に占める高齢化率も31.2%と年々上昇している。一人暮らしの高齢者はこのうち5,240人でこちらも増加している。また、認知症高齢者が3,501人で65歳以上高齢者の11.3%となっている。 日常生活を安全に過ごすための対策として、市では民生委員246人の体制で見守り相談を行っている。また、日配品等を配達している18事業者の協力をいただき高齢者見守り支援ネットワーク事業を実施しているほか、配食サービス、緊急通報装置、安心キットの配布を行っている。これらが全ての課題解決とはならないため地域の皆さんの気づき等、地域全体で高齢者を支える体制づくりにご協力をお願いする。 介護保険制度が改正となり、介護予防の仕組みや生活支援のサービスを地域の皆さんにも担っていただき、その活動に対してサービス費用が支払われる制度となる。成島地区コミュニティ会議では、いきいきサロンなど高齢者支援に熱心に取り組まれており、コミュニティ会議予算に関係してくると思われる。今後ますます地域での見守り支援、介護予防の仕組み等が必要となってくることから地域の力をさらに結集させていただきたい。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
7	H27.7.14	市政懇談会 (H27)	成島	総合政策部	秘書政策課	空き家対策について	一人暮らしの高齢者の住宅が近い将来空き家になることも予想されるが管理や活用など有効な手立てはないものか。	市外居住の方に固定資産税納入通知書と一緒に空き家バンク案内を送付したところ、登録希望申請が18件。近所に空き家があるという情報は総合支所地域振興課または本庁秘書政策課定住推進係に連絡願いたい。また、危険な空き家については建設部が窓口となっている。定住対策のひとつとして花巻に移住していただくために空き家を活用することとしており、8月から空き家バンクをスタートしてHP等で情報発信していく予定としている。
8	H27.7.14	市政懇談会 (H27)	成島	商工観光部	観光課	花巻空港の活用について	新聞記事によると花巻空港の80数%が台湾からくる方に利用され、花巻空港発利用率は60数%ということ。花巻空港を利用して観光客を呼び込むだけでなく、こちらからもでかけるなどの取組が必要。そのためには様々なイベント等の情報発信や花巻空港発の旅行商品などの工夫があれば花巻空港がより多くの人に活用されると思う。	地域の方が自分たちの空港だと感じてもらうための情報発信は不足していると認識しているので情報発信の方法について今後検討していきたい。 花巻空港の状況は国内定期便の利用者は平成26年度382,000人で震災後は年々増加している。また、国内定期便の搭乗率は大阪便75%、名古屋70%、札幌65%、福岡50%となっている。利用促進の部分では岩手県利用促進協議会で国内就航地先と連携しての取組みや空港情報発信やPRなどを実施しているが、花巻空港を利用して花巻に来てもらうという事業がメインとなっており、市民、県民の皆さんに利用していただくというウエイトは低い。皆さんにとって花巻空港が使いやすい空港とするためには、花巻空港と定期便で結ばれている地方の拠点空港の機能を高め利便性の向上を図るほか、格安航空会社の花巻空港乗り入れなど将来的に検討が必要と認識している。 拠点空港を経由して花巻空港のような地方の空港にきてもらう商品開発を航空会社に要望しておりその必要性は関係者も認識している。先ほどの搭乗率60数%は台湾側ではがっかりしている数字だと思う。台湾への定期チャーター便が運航されてきた中で、花巻市あるいは花巻市観光協会は市民を台湾に連れて行くツアーを企画するなどの努力をするべきだったのではないか。それで60数%という数字になったのであれば怠慢だと思っている。市民の皆さんに花巻空港を利用していただけようとする体制の構築が必要である。
9	H27.7.14	市政懇談会 (H27)	成島	商工観光部 東和総合支所	商工労政課 東和総合支所地域振興課	花巻市を活性化するための企業誘致について	東和地域の現在の人口は自分が東和に来た30年前と比べて2/3に減少している。特に若い人が少なくなった。仕事がないからということが要因のひとつとなっている。地域の働く場所についてどのように考えているのか。	今の若い人たちは、高校を卒業すると7割が大学等へ進学し、3割が就職している。就職している方の8割は地元に残りたいという希望がある。上の学校に進学した人たちがいかに花巻に呼び戻すかとなると、勉強した技術を活かせる職場や希望する職種が少ないことなどにより難しい。その点では地域の企業にも努力を怠らなくてそれに対して市が支援する仕組みが必要と考える。 花巻市の人口社会減は平成25年度100人位、それが平成26年度は360人位で減り方が増えている。逆に東京は人口社会増が平成26年度に急増している。これは東京の一部上場企業がバブル期以上に利益をあげており大学卒の採用を増やしていることから、学生が地元に残らず東京に就職してしまう現状にあるためといわれている。 有効求人倍率は花巻1.1、北上1.4～1.7で、花巻や北上は人手が不足しているので進出できないと企業では言っている。パートや単純作業の求人も含めると人手不足の感はあるが、大学等で勉強したことを活かしたい方の仕事は不足していると企業に対しては伝えている。 花巻は流通基地として北東北三県では評判がよく企業進出の話も流通業が多い。比較的給与の高い工業系の企業を誘致したいと考えており、そのためのチャンスを探し続けなければいけないと考えている。 東和地域への誘致について、市内の流通団地や工業団地は大きな土地があまり残っていないため、新しく団地を造ることを検討しているが進出する企業を考えると国道4号線沿い等交通の便がよい売りやすい場所を選ばざるをえないことになるため東和地域への誘致は難しいと考える。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
10	H27.7.14	市政懇談会 (H27)	成島	総合政策部	秘書政策課	ふるさと納税について	花巻市のふるさと納税の現在の状況とメリットを教えてください。	ふるさと納税は、ふるさとの自治体にいただいた寄付でまちづくりを進めていくというもの。花巻市では平成20年度からイーハトーブ応援寄附金として全国に呼び掛けてきた。寄附をいただいた方への特産品のお返しは昨年度からはじめていますが、さらに特産品を全国に発信したいということで今年度からヨーグルト、米、りんごの他にホームスピンのジャケットやJALバックと提携し花巻の温泉宿泊券と航空券にレンタカー利用を併せた旅行券など、花巻ならではのメニューを発信している。今日(7/14)現在4,584件、46,683,500円の寄附をいただいております。過去7年間の総額をはるかに上回る額となっている。新しい特産品の提案もいただいております見直しをしながら今後も取り組んでいきたい。 今年度は3か月で昨年度の7倍以上の実績。ホームスパンを注文した人もいます。また、札幌からの航空券、佳松園2泊の旅行券を4人分申し込んだ方もあり反響はある。他自治体も力を入れていることから、花巻りんご等特産品の宣伝拡大を図りながら今後もイーハトーブ応援寄附金のPRに取り組んでいきたい。
11	H27.7.14	市政懇談会 (H27)	成島	総合政策部 生涯学習部 健康福祉部	地域づくり課 生涯学習交流課 長寿福祉課	交通手段のない高齢者の振興センター事業参加への支援について	振興センターでの生涯学習事業や介護予防事業への参加促進のため、交通手段のない一人暮らし等の高齢者の支援をお願いしたい。	介護予防の取り組みや生活支援のサービスをどのような形で提供するか、また、交通費を補助するというにはおそくならないので、実施する場所などの部分から皆さんと話し合ってください。 市が補助するお金は皆さんからお預かりしている税金。みなさんが自分たちのお金をどう使うかということについて話し合いをさせていただきたい。
12	H27.7.14	市政懇談会 (H27)	成島	商工観光部	観光課	花巻空港へのアクセスについて	花巻空港は個人利用者にとって交通手段が少なく不便。(回答不要)	
1	H27.7.23	市政懇談会 (H27)	八重畑	建設部	道路課	関口広野線の道路管理について①	関口広野線について、合併前の平成8年から八重畑地区のほ場整備が始まり、歩道用地として岩手県の許可を得ながら創設換地を行った。地域の貴重な財産を道路用地として提供したが、今まで何の進展も見受けられない。市では道路管理さえ行っておらず、地域住民からは不満の声も多く聞かれる。道路用地に隣接する水田の所有者が草刈り等の管理をしているのが実態である。 総合的な整備計画と早期実施が必要であるので、実現に向けて努力していただきたい。 ・市では道路用地としてどう認識しているか ・道路管理上どのような取り扱いをしているか ・水田所有者とは管理委託契約等はどうかになっているか	ほ場整備事業により、道路用地として創設換地したことから、合併後の平成24年3月に市が取得している。 市では、交差点周辺と交通に障害がある場所のみ草刈りを行っており、実際には周辺で耕作を行っている方々や地域の方々のボランティアによって草刈りなど維持管理を行っていただいている。 今後は、農業の集約化や農家の担い手の減少などにより、これまでボランティアでお願いしていたものも地域で取り組むことが難しくなると思われるので、地域の方々とよく相談させていただきながら、今後の在り方について、検討させていただきたい。 また、路肩の草刈りについて、多面的機能支払事業と連携しながらやっている例もあるので、そういったことも踏まえながら地域事情に合った形で検討させていただきたい。 道路整備の関係では、今年度、市内では300件ほどの要望箇所があり、新規採択は5か所である。国の予算が事業ベースで約1億5000万円減少しており、幹線の生活道路を優先的に整備すること、また各地域の要望を踏まえた形で厳選しながら進めており、関口広野線についてはまだ、手をかけられない状況である。 関口広野線についても特殊な事情があり、大事なことは認識しているがなかなか厳しい。国や県に対して予算の確保などを要望しているが、今の国全体の予算からすると難しいという状況である。
2	H27.7.23	市政懇談会 (H27)	八重畑	建設部	道路課	関口広野線の道路管理について②	この道路は大変危険で、過去に死亡事故もおきている。大型車がすれ違う時は田んぼの畔で待たなければならない。地域住民で草刈りを20年近く行ってきた。予算の関係もあると思うが、希望が持てるように改善をお願いしたい。	八重畑地区の土木施設要望は10件ほどであるが、新規採択は市内全域で5件、うち八重畑地区は1件を新規採択させていただいている。市全域で交通量が多い等、一定の条件も踏まえながら採択している状況なので、よろしく願いたい。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
3	H27.7.23	市政懇談会 (H27)	八重畑	教育部	こども課	八重畑学童クラブについて①	施設整備の予算がついたと話は聞いたが、具体的にどこまで進んでいるのか進捗状況を伺いたい。	7月16日に実施設計業務の入札を行い、設計業者が決定した。今後の予定としては、学童クラブ、小学校と設計業者を交えて協議を行い、9月末までに実施設計を行う。10月に工事入札を行う予定であり、11月ごろから工事を行い、冬休みをはさんで、来年1月末までに工事完了の予定としている。 校舎1階の保健室・図工室を学童クラブとして利用するためにトイレや校舎との仕切り扉を設置する工事などを行う。 また、保健室と図工室の機能を確保するために2階の児童会室を併用する形で移設する工事を併せて行う。 八重畑小学校での学童クラブの運営開始時期は来年2月からの見込みで進めている。 地域の方々にお伝えすることについては、設計が終わり、このようなものになるという図面等をコミュニティ会議のチラシ等と一緒に出示していただいて、お知らせしたいと思う。
4	H27.7.23	市政懇談会 (H27)	八重畑	教育部	こども課	八重畑学童クラブについて②	4月時点のスケジュール案と現状を比べると1か月遅れているようだが、本当に来年の2月から運営開始できるのか。2月、3月は忙しいので、できれば1月から入れるようにお願いしたい。	4月21日の打合せ以降、情報提供しなかったことは深くお詫びしたい。今後はしっかり情報提供するようにしていく。スケジュールについて遅れた理由は、実施設計業務委託の1回目入札が不調となったことが原因である。今後、設計業者と打合せを行い工期を短縮することが可能か日程調整するように指示する。
5	H27.7.23	市政懇談会 (H27)	八重畑	総合政策部	秘書政策課	空き家の担当窓口について	空き家についての窓口を作り、対応していかないと難しいと思う。いろいろな情報を集約して伝達する窓口を作らないと定住促進とか空き家対策は難しいと思う。	今の話は非常に大事な点だと思う。具体的にどうやるかという点には解決できない問題がある。 空き家の窓口については、市の職員でやる必要があるが、市の職員だけでは対応できない部分もあるので、地域に協力をいただかなければならないと思っている。
6	H27.7.23	市政懇談会 (H27)	八重畑	総合政策部	秘書政策課	空き家の活用について	県外から農業をしたいという方が、8月に来ることで東中島の空き家に入居する予定である。市では定住促進のために、様々な事業をしており、地域の皆さんも移住希望者いたら、花巻市の人口を増やすように協力していただきたいと思う。	県外からの移住者が空き家を借りて水回り等の改修をした場合に、一部だが補助対象とすることで制度を拡充を検討している。
1	H27.7.27	市政懇談会 (H27)	湯本	健康福祉部	健康づくり課	地域医療体制について	花巻市には当時、花巻南病院と花巻温泉病院の2つの国立病院があったが、全国の国立病院統廃合計画に基づき統廃合計画がたてられた際、当時の市の民生部長と市議会特別委員会委員長が厚生省と交渉した経緯がある。また、現在の花巻温泉病院は地域からの外来患者が多く、日々の市民の健康状態に寄与する度合いが高いことから病院を残していただきたい。 住民としてどのような方法で協力したらいいのか。署名活動を通じてバックアップをするほうがいいのか、しないほうがいいのか伺いたい。 総合花巻病院が厚生病院の跡地に移転した場合、病床数を増やすことは医師確保の問題から難しいのではないかと。花巻温泉病院は東北医大系統の医師が多いと聞いたが、東北医大に関わらず東北全体、全国全体の医師の派遣等検討しなければならない。このことから2つの病院を残すことでこれまでと同様の医師数を確保しやすいのではないかと。	非常に難しい話。花巻温泉病院は、地域にとっても必要な病院であり、存続をお願いしているが非常に難しい。 そういう中で、存続運動をした結果、岩手医大の考えが変わるのであればする価値は大いにあるが、難しいと思う。岩手医大と友好関係を確保していく中で存続をお願いしていきたい。 総合花巻病院の改築、医師の確保について、今の病院施設は古く研修医が研修にきたいような場所ではないことから、施設の面でもいい病院を作っていく必要がある。一般病床の少ない花巻市でどのようにして市民の生活を守るか一生懸命考えているところである。 花巻市の3次救急体制先端治療を考えた場合は、中部病院や矢巾町に移転予定の医大を使えばいいと思う。しかし、先端治療を病院は1週間くらいで退院させるため、その後の病院が必要でありそれをどう確保するか、医大などにも協力を求めている状況。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
2	H27.7.27	市政懇談会 (H27)	湯本	健康福祉部	健康づくり課	医師の確保について	なぜ医師が来ないのということを考えたほうがいいのか。何か市民として出来ることがあるのではないかと思います。	具体的に何が出来るか一緒に考えなければならぬが、すぐに答えがでない。 まずは総合花巻病院を移転し採算があう病院になって続けていただく。計画がある程度固まった段階で市民の方にも説明していく。 厚生病院跡地については県の英断で解体することが決まった。総合花巻病院の移転については市がどれだけ支援できるか市民の皆さんと話し合い、できるだけ時期を早めたい。
3	H27.7.27	市政懇談会 (H27)	湯本	商工観光部	商工労政課	プレミアム商品券の購入について	プレミアム商品券について家族分を引き換えたが、余ってるとのことからもう一度購入できるか。	まだ購入されていない方は、7月31日まで購入できる。余った分については8月中か9月になってからまた売り出す予定であり、つぎは引換券無しで買えるようにしたい。
4	H27.7.27	市政懇談会 (H27)	湯本	建設部	都市政策課	空き家対策について	空き家について、家屋を壊せば固定資産税が6倍になる。壊して更地にするのと何十万とかかるので壊さないでいるんだと思うが、どうしたらいいのかと考えている。	湯本地区の場合、比較的住宅が密集していない地域のため、直ちに危害が及ぶような建物はないので解体の勧告をして固定資産税の軽減措置の除外を適用させることはあまり多くないと思う。今後の対応については、慎重に検討していきたい。
5	H27.7.27	市政懇談会 (H27)	湯本	農林部	農村林務課	バイオマス工場立地における木材資源の調達について	木質バイオマス工場の誘致が決まったが、山林の乱開発にならないか。乱伐にならない方法もあると思うが、どう見通しているか。	今回の立地について一番ネックになったのは木材を調達できるかということ。当初は今回の倍の規模で計画した企業があったが、木材を調達できる見込みがなく立地を諦めた。 バイオマス発電に利用するのは、建材、合板材等に使う木材より安いC材、D材である。建材等に使えない品質の悪い木材をバイオマス発電に使うことから、このために乱開発をすることは全く考えられない。
6	H27.7.27	市政懇談会 (H27)	湯本	教育部	小中学校課	いじめ問題について	いじめの問題をニュースで聞くが、花巻市内の中学生のクラブ活動の在り方について問題はないのか、現状認識と教育体制の在り方について伺う。	市の教育委員会で、いじめ対策等の計画を作り各学校に今年の5月に通達している。 いじめ防止については大変重要な問題であり、各学校でもう一度考え直すよう教育委員会が進めている。
7	H27.7.27	市政懇談会 (H27)	湯本	総合政策部	総務課	市役所の窓口対応について	市職員の窓口対応について、市民の立場に立った仕事をしていない。市の指名業者への指導もせず、自分が手続きした際も、聞いたことしか教えてくれない。下水道については工事が始まる前に地域で説明があったが、それ以降はいつから使えるとか負担金についての説明もない。市民登録課の窓口で職員が座って待っているのはおかしい。やめてもらいたい。	下水道については説明会をすべきだと思う。市職員の仕事については、少しずつだが改善されてきている部分もある。もともと優秀な人が多いし、特に若い人たちはいろいろなことを考えて楽しそうに仕事をしている。そういう職員が増えてほしいと思う。 窓口について待っていることについては、考え方の問題だが、窓口に行って待たずに対応してもらえると評価していただいている。今後も、市民サービスの点からも窓口には十分な人数を配置していく。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	総合政策部 建設部	秘書政策課 都市政策課	空き家対策について	空き家対策について、昨年度の懇談会の際に「今後、国の施行にあわせて計画的に実施していく」と回答をいただいたが、その後、市では具体的にどのような対策を考えているのか伺いたい。	<p>平成24年に行政区長に対し空き家の情報提供を依頼し、市内全域を調査した。以降、所有者に対し適切な管理を促してきた。また、人命に危険が生じるような際には、消防本部等と連携し迅速に対応してきた。本年5月から全面施行された空き家法に基づき、市では空き家等対策計画を策定中。空き家の現況調査終了後、特定空き家(他に悪影響を及ぼすような空き家)については、所有者等へ助言、指導、勧告を行う。改善されない場合、住宅用地にかかる固定資産税の軽減措置を除外する。なおも改善されない場合、命令措置として行政代執行となるが、国のガイドラインでは、「周辺の建物や通行人に対して切迫した危害が及ぶ場合、その部分のみ代執行可能」という条件があり、いくら危険でも建物自体を全て壊すことはできない。</p> <p>市では空き家法に従って対応していくが、市民に危害が及ぶような建物があった場合には、きちんと対応できるような空き家等対策計画を策定していきたい。</p> <p>空き家バンク制度は、市内の空き家情報を市のHPで公開する仕組み。空き家の所有者がバンクに登録し、首都圏などに登録情報を発信する。市内に建物を所有している市外の方へ空き家バンクについて周知したところ、多くの反響があった。現在、登録申請のあった建物を調査中だが、リフォームが必要な物件もあり、8月のHP公開に向け準備を進めている。</p> <p>空き家バンクについては、全国各地で既に実施されているが、難航している行政もある。大分県竹田市は人口3万人程度だが、登録された物件の6割以上が成約に結びついたという実績がある。当市の職員を竹田市へ派遣し勉強させるなど、空き家バンクがうまくいくよう準備を進めている。また、紹介いただける物件があれば、情報提供をお願いしたい。</p>
2	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	総合政策部	秘書政策課	市のPRについて	空き家バンクの話があったが、花巻市は交通機関も整備され、温泉もあり、良いところだ。市の職員にも花巻市が良いところだという認識をもっと持ってもらい、さらに全国に売り込んでほしい。	<p>自分も花巻市はとても良いところだと思っている。地域おこし協力隊という制度があり、最大3年間、地域づくりの活動をしてもらう市の非常勤職員を今年7人雇用する。地域づくり活動の中で自分の仕事を見つけていただき、できればその後も花巻市に住み続けていただきたい。一人当たり年間400万円程の経費がかかるが、全額が国からの補助となっている。民間会社に依頼をして市のPRを行ったところ、東京での地域おこし協力隊の説明会に60人も人が集まった。今後も、専門家に依頼しながら市のPRを行ってほしい。</p>
3	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	総合政策部	防災危機管理課	指定避難所案内板の設置について	指定避難所案内板の設置について、昨年度の懇談会の際に「実態調査のうえ計画的に整備をしていきたい」と回答をいただいたが、その後の進捗状況について伺いたい。	<p>8/1号の広報紙に避難所に関する特集を掲載するが、災害対策基本法の一部改正により、振興センターは「指定緊急避難所」という名称に変わる。また、松園地区では花巻北中学校、総合体育館、花北地区社会体育館が「指定避難所」と名称が変わる。指定緊急避難所となる松園振興センターは、災害があった際に一番最初に避難する施設となる。指定避難所は、避難が長期間に及ぶ場合に生活の拠点としていただく施設である。避難所の名称変更に合わせて、まずは市内27カ所の振興センターに改めて看板を設置していく。また、避難誘導板についても検討し、順次整備を進めていきたい。松園地区にある花巻北中学校への誘導案内表示についても改めていく。</p>

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
4	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	総合政策部	防災危機管理課	指定緊急避難所について	松園振興センターが指定緊急避難所に変更となることにより、どのように変わるのか説明いただきたい。	松園振興センターは指定緊急避難所となるので、避難所を開設する場合は、休日や夜間でも市の職員が来て避難者の受け入れなどを行う。コミュニティ会議には指定管理をお願いしているの、災害が発生した場合には、可能であれば施設の開錠などをこれまでどおり協力いただきたい。 避難準備情報が出た段階で市の職員が避難所に入るので、地区の方々は避難していただいて構わない。ここ半年間で避難準備情報が3回出たが、実際に数名の避難者があった。先週は、鉛温泉地区で土砂災害の警戒情報が出たため、湯口振興センターを避難所として開設したが、避難者はいなかった。今後も避難情報が出た際には、避難所を開設して避難者を受け入れできる体制をとっていきたい。
5	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	総合政策部	防災危機管理課	防災ラジオの不具合について	防災ラジオについて、ここ3年間ほどの間に自動起動したことは1回もない。今月の初め一斉に訓練をした際にも鳴らなかった。一度点検を行う必要があると感じている。一斉点検をせずに一般に販売することに疑問を感じる。	防災ラジオの不具合について調査したところ、携帯から信号を送信するとラジオが起動することが分かったので、今後はそのように対応する。いざという時に使えなくては意味がないので、今後は定期的に訓練をすることとしたい。不具合の原因が分かったので、一般の方へ防災ラジオを有償提供することについて広報に掲載した。正常に起動することを確認してから有償で配布することを進めていきたい。
6	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	総合政策部 商工観光部	防災危機管理課 観光課	案内表示について	先日、ほかの町に行った際に、避難場所は中学校の表示と一緒にあった。それが道路標識と同じように見やすく表示されていた。花巻でも分かりやすい表示板の設置をお願いしたい。	当市では、市内の学校の案内表示に避難所と併記されていないので、避難場所の表示の仕方も含めて検討させていただきたい。 市内にはフラワーロールの看板の下に案内が表示されているものがあるが、字が小さくて運転中も見づらいので、これも含めて検討していきたい。
7	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	建設部	道路課	南新田ショッピングセンター 周辺の道路整備について	南新田ショッピングセンター周辺の道路整備の進捗状況について伺いたい。	ショッピングセンター周辺の道路については、開発計画が出された時点で交通処理計画を花巻警察署と協議した。警察からの指示により、歩道のカラー舗装、交通がスムーズにいくな看板の設置、ショッピングセンター北側の右折レーンのライン引き直しを実施した。また、一方通行のため南側に抜けられなくなっているのは、開発業者が地区説明会を行った際の地区民の要望によるものである。西側道路は、近くの農家の方々が農作業できなくなるため、改良の予定はない。東側の幹線道路は、比較的緩い勾配ではあるものの、冬期間は渋滞を防ぐため融雪剤の散布をするなど対応していきたい。
8	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	生涯学習部	生涯学習交流課	平成28年度における振興センターの生涯学習事業について	平成28年度における振興センターの生涯学習事業について、どのように展開していくと考えているか。	先日開催されたコミュニティ会議との協議の場で説明させていただいたが、振興センターにおける生涯学習については、平成28年度は本年度と同様に市で資金面も含めて継続して支援していく。平成29年度については、地域づくり交付金で対応していただきたいと考えており、コミュニティ会議より了承いただいている。
9	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	生涯学習部	国体推進課	国体における総合体育館の 駐車場不足について	総合体育館の駐車場は現在でもすぐ満車となる。来年度国体が開催された時に、駐車場が不足すると思われるが市の考えを伺いたい。	国体の駐車場が不足している件については、大変な問題だと認識している。この対応については、国体推進課で検討課題として取り組んでいる。現時点で具体的な対応案について担当課から報告はきていないが、注視していきたい。
10	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	市民生活部	生活環境課	中部クリーンセンターの稼働に 伴うごみカレンダーの変更について	中部クリーンセンターが10月から稼働することにより、現在のごみ収集カレンダーに変更はないのか。笹間地区では変更があるという話も聞いているがどうか。	ごみ収集カレンダーの変更については、担当課からの報告を受けていない。原則は変わらないと思うが、場合によっては年末年始の変更の可能性はあると思う。笹間地区について変更するとの報告もない。
11	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	総合政策部	総務課	選挙投票所(花北地区社会 体育館)について	花北地区社会体育館が選挙投票所となっているが、日居城野保育園から変更したのはなぜか。変更したことにより松園町中心部から外れてしまい、若い人たちは選挙に行かないなど投票率が下がっている。投票所を元の場所に戻してはどうか。	市の方で投票所を変更することもあるが、地元の区長に協議をして地域の意向を伺ったうえで変更している場合がほとんどである。元の投票所に戻す場合、今回の選挙に間に合うか分からないが、ご意見として検討させていただき、選挙管理委員会の事務局等でどう捉えているか確認する。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
12	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	商工観光部	観光課	花巻温泉の入れ墨への対応について	先日、東京から友人が来て花巻温泉のホテル紅葉館に宿泊したが、入浴者の1人が総入れ墨だった。つなぎ温泉の大浴場入口には入れ墨、タトゥーの方はお断りしますとの表示があった。花巻でもそういう対策をしてほしい。	法律では入れ墨のある人の入浴は禁止されていないため、あくまでそれぞれの施設の考え方で周知している。タトゥーを認めてるところもある。強制はできないが、お話があったことは花巻温泉に伝える。
13	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	商工観光部	観光課	入れ墨について	外国人にとって入れ墨に悪意はなく、ファッションの一部と捉えていると思う。外国人が観光に来た際、風呂に入れれないとなった場合はトラブルになることもあると思うので、そのことも考慮していただきたい。	
14	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	建設部	道路課	松園や駅西口の交通渋滞について	松園や駅西口付近は、交通量が増え交差点で交通渋滞が発生している。右折レーンが不足している箇所も多く、また、ショッピングセンターのオープンも関係していると思うので、市内の交通量を調査のうえ対応いただきたい。	交通渋滞対策については、今年度交通量調査をするので、調査結果を踏まえて対応していきたい。ショッピングセンターの北側のT字路については、先日花巻警察署で行われた交通会議の際に、信号機の設置について花巻警察署から県公安委員会に上申するという話があった。設置されるかどうかは未定である。
15	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	総合政策部 市民生活部	地域づくり課 生活環境課	公園の安全対策について	市の公園でのキャッチボールは禁止されているとある人から聞いたが、ルールはあるのか。以前、わかたけ児童公園からボールが交差点に出てしまい、車が急ブレーキをかけたという事例があった。また、他の町では同様の事例で交通事故が発生し、損害賠償責任が発生したこともあるようだ。公園内で安全に遊べるよう、ネットを設置するなど対応を検討していただきたい。	個別の公園ごとに事情は異なると思うが、公園によってはキャッチボールは認めるとしてもよいのではないかな。できれば、このようなことはコミュニティ会議で対応を考えていただきたい。
16	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	生涯学習部	スポーツ振興課	花巻球場の増設について	花巻球場の増設計画を考えていただきたい。大きな球場を整備すれば、プロ野球の試合も可能になると思う。ぜひ検討していただきたい。	野球場については、市の予算を使うことが市民のためによりことなのかということだと思う。盛岡市では、市営球場を盛岡の南側に造る計画がある。それが県営球場並みの規模なのであれば、その球場が県営球場に代わって使われるようになる可能性はあると思う。
17	H27.7.29	市政懇談会 (H27)	松園	総合政策部 市民生活部	地域づくり課 市民生活総合相談センター	デザインに統一性のある街路灯の設置について	まちづくり交付金で街路灯を設置しているが、6～8種類の街路灯が1本おきに設置されている状況で統一性がなく見苦しい。今後はデザインを統一して設置した方が良いと思うが意見を伺いたい。	現在、地域に必要な街路灯は、コミュニティ会議により地域づくり交付金で設置していただいている。確かに、設置年度が違うため電球の種類も様々であるが、これを統一することはなかなか難しいと思う。消費電力の少ないLEDに変えている地区もあると聞いているが、どのような街路灯にするかは予算との兼ね合いもあるので各地域の決定に委ねる必要があるが、市が推奨するデザインを選定するということは考えられる。 花巻全体の街並みにも関連すると思うので、デザインの統一について推奨するという形で検討したい。